

# 平成28年度事業報告書

ケアハウスグリーンヒル淳風  
軽費老人ホーム（ケアハウス）事業  
訪問介護・介護予防訪問介護事業  
居宅介護・重度訪問介護事業  
通所介護・介護予防通所介護事業  
居宅介護支援事業  
地域包括支援センター事業

平成28年度の事業計画において

1. 地域へ「安心」を提供するためのサービスの具現化
2. 地域連携の拠点となるための活動の充実
3. アウトリーチ（相談窓口）機能のさらなる強化

の三点をグリーンヒル全体の目標とし、各事業を運営しましたので報告をいたします。

## I. ケアハウス

### ① 実績

目標数字：稼働率98%（49名/月）以上。

#### ご入居者実績

	28年度 実績	前年度 実績	前年比
月初入居者数	591人	589人	100.3%
月平均	49.3人	49.1人	100.4%
新入居者数	7人	8人	87.5%
退居者数	8人	10人	80.0%

#### 収入実績

	28年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者収入金額	53,495,822円	51,248,504円	104.4%
事務費補助金	34,854,400円	35,506,800円	98.2%
有料サービス	1,530,812円	1,370,284円	111.7%
合計	89,881,034円	88,125,588円	102.0%

平成 27 年度と比較し稼働率 100.3%、収入 102.0%と若干ではあるが上回った。待機者の確保には注力し 5 月以降 11 月までは 50 名満床を続けられたが、下期に入り 6 名と毎月のように退居者があり新入居が追いつかず年度末入居者を 48 名で迎えたことは待機者確保が不十分であったと反省する。有料サービスの増加からもわかるように平均年齢 85 歳 3 ヶ月、最高齢者が 101 歳 1 ヶ月と高齢化は進んでおり、これからも退居者は続くと思われることから平成 29 年度も最重要課題としたい。

## ② 入居者支援の向上と職員個々のスキルアップ

課題とした本人情報、家族情報、薬情報、保険証等を一冊にまとめる作業は終わることができた。支援の見直しを図るなかで、できる限り自立した生活を過ごしていただくことを目指したが、結果として有料サービスが増えることとなった。

デイサービス横の土地を農園として活用する準備に入った。ご入居者、デイサービスご利用者に四季を感じてもらい、生き甲斐作り、体力作りとなるよう整備し支援につなげたい。

## ③ 地域貢献にむけた活動の充実

「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」については協力施設合同会議や老人会の集まりで寸劇による PR を行った。寝屋川市全体のデータではあるが、平成 28 年度は 2 月までで緊急対応が 18 件あり、ご逝去が 1 件、入院や外出していたことによる不在が 14 件であったが救急搬送につながったケースが 3 件あり、かぎ預かり事業が有意義であることを再確認した。

9 月から 3 か月間、週 1 回開催の「気軽に元気アップ講座」は初めての事であったが六中包括の紹介により協力を得た歯科衛生士、看護師、理学療法士とケアハウス職員で開催し有意義なものがあったと思う。

寝屋川市社会福祉協議会から中間的就労支援で 2 名を受け入れ、1 名は淳風とよなか特別養護老人ホームで就労することができた。12 月より家庭裁判所から処分保留で試験観察中の少年受け入れを始め、3 泊 4 日で 3 名が職場体験した。

## II. 訪問介護事業

### ① 実績

目標数字：1400 時間

サービス提供時間は毎月数名の新規もあるが施設入居やご逝去による解約もあり月平均約 1285 時間と目標には届かなかった。しかし、平成 28 年度と比較しご利用者数 109.8%、サービス提供時間数 109.0%、収入 104.0%と増加した。登録ヘルパーは平成 28 年 3 月から 7 月まで毎月 1 名を採用できたが、それ以降できていない。退職者も出ているので今後サービス提供を増やすうえで

登録ヘルパー確保は大きな課題であると認識している。

介護保険関係	28年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	1233人	1123人	109.8%
訪問回数	14490回	14179回	102.2%
サービス提供時間 （月平均）	15111：54 (1259：20)	13863：28 (1155：17)	109.0% 109.0%
収入金額	51,444,117円	49,448,905円	104.0%

外部関係	28年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	856人	759人	112.8%
訪問回数	8819回	8281回	106.5%
サービス提供時間	9230：11	8217：57	112.3%
外部比率（時間対比）	61.1%	59.3%	103.0%

移動支援関係	28年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	11人	0人	—
サービス提供時間	123：30	0：00	—
収入金額	199,550円	0円	—

障害福祉関係	28年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	7人	0人	—
サービス提供時間	70：20	0：00	—
収入金額	177,176円	0円	—

育児・家事支援	28年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	15人	33人	45.5%
サービス提供時間	113：00	445：00	25.4%
収入金額	203,400円	808,000円	25.2%

② 介護予防・日常生活支援総合事業に向けての準備

市の体制、市職員の制度の認識統一ができておらず曖昧であるが、基準緩和型を受ける事業所として体制を整えていく。

### ③ 人材の確保と育成

新しいサービス提供責任者も契約からサービス提供まで一連の動きができるようになった。ヘルパー会議の参加者を増やすことが課題であるが未達成である。平成 29 年度は会議、研修の内容を魅力あるものにし参加者を増やすことを目標としている。

## III: 通所介護事業

### ① 実績

目標数字：年間平均稼働率 80%以上（最低収入 180 万円）

介護保険関係	28 年度 実績	前年度 実績	前年比
実利用者数（延べ）	2409 人	2108 人	114.3%
一日平均利用者数	7.8 人	6.8 人	114.7%
稼働率	78.0%	68.4%	114.0%
収入金額	21,741,222 円	19,955,039 円	109.0%

低迷していた稼働率は 6 月以降徐々に回復し 80%前後を維持している。目標としていた稼働率は未達成であるが、収入は月平均 181 万円と達成した。外部の居宅介護支援事業所からの紹介が増えたことにより毎月 1~2 名の体験依頼があり新規契約につながっているが施設入所、入院もあり 3 月末登録者数は平成 27 年度末と比べ 4 名の増加に留まった。

### ② 地域密着型通所介護事業所としての役割作りと顧客の開拓

地域密着型サービスに求められている運営推進会議を 2 回開催した。出席者は校区福祉委員、民生委員、包括職員であるが、今後は利用者、家族、地域の方に参加してもらえるようにしたい。

### ③ 人材育成によるサービスの質の底上げ

1 月より生活相談員兼介護職員が産前産後、育児休暇に入るため、10 月に登用と採用により正規職員 2 名を増員した。その 2 名の職員の教育を急ぐと同時に最低限の職員数で業務を行っているため非常勤職員の採用も急ぎたい。

## IV. 居宅介護支援事業

### ① 実績

目標数字：

- ・ 4 月-9 月      要介護 155 名    要支援 70 名
- ・ 10 月-3 月    要介護 170 名    要支援 80 名

介護保険関係	28年度 実績	前年度 実績	前年比
要介護者契約延べ数 (月平均)	2094 件 (174.5)	1778 件 (148.2)	117.8%
要支援者契約延べ数 (月平均)	693 件 (57.8)	804 件 (67.0)	86.2%
収入金額	36,679,422 円	32,090,672 円	114.3%

要介護の件数は目標を達成したが要支援については未達成であった。10月より派遣職員を採用し6名体制としたが定着せず、1月に小規模多機能ホーム淳風ふたばより職員を異動させることで体制を維持した。

## ② 地域包括システム構築の具現化

毎月行われる地域会議に参加し、地域包括支援センターや他事業所との情報交換を行った。利用者の入退院時には病院への情報の提供や収集を行い、関係機関と情報を共有することで安心してもらえるサポートができた。

開始が遅れている障がいを持つ高齢者への相談支援は、6名体制が落ち着き管理者の件数が適正になった時点で行いたい。

## ③ 居宅介護支援事業所運営の適性化

介護保険の法令遵守への取り組みは利用者ごとにチェックシートを作成し適切に業務が行われているか進捗状況の把握に努めた。6人体制になったのが遅かったこともあり管理者のプラン数も制限一杯になっている。管理者としての業務ができる体制にすることを平成29年度上期の事業所の目標として取り組むこととしている。

## V. 地域包括支援センター

### ① 実績

目標数字：直轄ケアプラン数 1200 件

介護保険関係	28年度 実績	前年度 実績	前年比
予防プラン数(延べ)	4120 件	4229 件	97.4%
内直轄プラン(延べ)	1063 件	1127 件	94.3%
相談件数(延べ)	520 件	507 件	102.6%
収入金額	30,302,956 円	30,603,869 円	99.0%

平成28年度は5月のプランナー交代の影響もあってか予防プラン数、直轄プラン数ともに目標は未達成であった。今後は専門職の限度一杯である10件の維

持とプランナーの件数も 10 件ほど増やす計画でいる。

② 地域包括ケアシステム構築の継続的实施

地域ケア会議の開催頻度を増やすことで困難ケースに対する関係機関の支援体制の構築、情報共有を行った。認知症サポーター養成講座も生命保険会社や薬局からの依頼に応え実施している。看護職も医療機関と連携をとっていることにより、平成 29 年度より中央高齢者福祉センターにおいて月 1 回医療に関する講座開催を依頼された。

③ 地域包括支援センターの周知

介護予防教室 3 回、オリジナルの「いつまでもお元気で教室」を 36 回開催した。参加者も 30 名を超えることが増え周知されていることを実感している。

毎月開催される「ひとり暮らしサロン」に参加し周知と関係作りに努めている。また、自治会と連携することで包括新聞の発行部数を増やしており、地域の方々に活動内容を知っていただく機会を増やしている。

## VI. その他

① 老朽化が進む建物全体の補修計画の作成

平成 28 年度は、ボイラー給湯ラインポンプ、浴室の窓、カラン、鏡、ナースコール、換気扇など急を要する不具合が発生し、計画的にできたのは厨房のカウンターのみとなった。年度末に行った消防設備点検では経年劣化による不具合が見つかり 100 万円程かかるが対応するほか、雨漏り、床材張替については平成 29 年度に計画する、

② 給食業務の見直し

厨房職員を見直すことで 5 月より委託費を値下げしたが、ケアハウス職員の協力が無ければ継続が難しいとのことで一部の工程を引き取った。今後は委託費の値上げのタイミングで直営を検討し準備に入っている。

③ 隣接地の活用

10 月、1 月と話し合いの場所を持ち、医療的に支援が必要な難病の方が入居する施設、学校のように学んで単位を取得したり働くことで生き甲斐が持てるデイサービス等の意見が出た。その中で、ケアハウスの入居者で認知症が重度になったがお元気で、いきなり特養へ転居できない方が生活できるグループホームの意見があった。寝屋川市高齢者保健福祉計画 2015～2017 では地域密着型サービスの整備を行うとして 29 年度に 2 カ所のグループホーム開設を予定している。現在策定を始めている 2018～2020 でも公募があると思われるのでチャレンジすることが可能と考えている。今後もすぐに事業を起こすのではなく意見を出し合うことは継続したい。

1、月初入居者総数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
48	50	50	50	50	50
10月	11月	12月	1月	2月	3月
50	50	48	49	48	48

2、新入居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	2	0	1	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	0	1	0	2
合計					8
前年度					8

4、退居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	1	0	0	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	2	0	1	1	1
合計					8
前年度					10

5、体験入居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
2	0	1	1	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	0	0	1	2
合計					9
前年度					8

6、月中入院者又はSS等の長期利用(延べ)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	2	2	3	3	3
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	2	2	0	1	4
合計					25
前年度					34

7、介護区分状況(介護度別)

介護度	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
自立	8	10	5	5	3	5
要支援1	1	2	0	0	1	2
要支援2	4	8	1	3	3	5
要介護1	18	12	7	3	11	9
要介護2	13	12	2	3	11	9
要介護3	3	4	1	0	2	4
要介護4	1	0	0	0	1	0
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	48	48	16	14	32	34

8、介護区分状況(要支援・要介護別)

介護区分	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
要支援	5	10	1	3	4	7
要介護	35	28	10	6	25	22

平成28年度ケアハウスグリーンヒル淳風施設内活動、行事報告

1、行事

行事名	開催日	参加数	前年度
花見会	4/23	66	65
春の行楽ツアー(舞洲ゆり園)	6/7	17	17
バーベキュー大会	6/19	57	70
納涼会	8/21	202	201
敬老会	9/17	50	54
運動会	10/9	46	47
秋の行楽ツアー(南禅寺奥丹)	10/24	13	17
焼芋大会	11/20	35	39
餅つき大会	12/11	65	56
新年会	1/7	49	50
初釜	1/22	34	31
鍋料理	2/12	55	57

2、クラブ活動

クラブ名	実施回数	参加数(延べ)	参加数(平均)	前年度(平均)
うた体操の会	12	90	7.5	8.0
紙芝居・朗読の会	10	68	6.8	8.1
カラオケの会	12	94	7.8	8.4
生け花の会	11	24	2.1	2.9
輪投げ会	12	112	9.3	9.4
ビデオ映画会	11	114	10.3	10.2
手作りクッキング	12	73	6.0	6.3

3、アクティビティ

アクティビティ名	実施回数	前年度
食事ツアー	10	10
買物ツアー	20	21
誕生日会	50	50
喫茶	6	6
季節の入浴	12	12

4、懇談会等交流会

会議名	実施回数	前年度
ご入居者懇談会	6	6
事故苦情第三者委員会	1	2

※家族後援会総会は平成27年度より休止

5、ボランティア受け入れ実績

ボランティア名	受入人数	前年度
一般	21	28
寝屋川市社協	138	142
納涼会ボランティア	41	46
清風寺スカウト会	24	12
清風寺若葉会	84	89
信光寺	23	19



## 28年度研修一覧表

### 1、研修

#### ①施設外研修(包括除く)

研修名	参加人数
今後の軽費老人ホーム・ケアハウスのあり方を考える	1
クオレ介護フォーラム	2
これからの少子高齢化社会と社会福祉法人に期待されること	1
障害者の人権～障害者差別解消法施行を受けて～	1
社会福祉法人改革について	1
移動支援従業者養成研修	2
社会福祉法人制度改革について	1
就労訓練事業担当養成研修	1
法改正を生かした社会福祉法人の法人経営	1
レクリエーション介護士2級研修	1
大阪府軽費老人ホーム指導・研修会 高齢者虐待の防止・施設における感染対策	1
福祉医療機構 軽費・養護老人ホーム経営セミナー	1
地域貢献事業実践報告会	1
介護予防・日常生活支援総合事業説明会	4

#### ②施設外研修(包括)

研修名	参加人数
バリアフリー展2016	1
認知症と向き合うために	1
クオレ介護フォーラム	1
高齢者虐待対応研修(基礎研修)	1
高次脳機能障がい基礎研修	1
サービスマナーセミナー	1
一億総活躍社会を見据えた地域包括ケア	1
地域包括ケアシステムに関する研修	1
地域における看取りのための研修	1
シンポジウム「本音で語る在宅移行」	1
黒田裕子記念 神戸フォーラム	1
クオレ介護事例発表会	1
世界アルツハイマー記念講演	1
地域医療構想と介護保険で「地域包括ケア」は可能か?	2
ニッセイ財団シンポジウム「高齢社会を共に生きる」	1
消費のサポーター養成講座	1
若年性認知症と前頭側頭葉変性症について	1
マッセ市民セミナー 市民後見人活動	1
認知症フレンドリーコミュニティをめざしてシンポジウム	2
平静28年度 消費のサポーター更新講座	1
近畿圏地域包括支援センター職員資質向上研修	1

#### ③職員会議研修

研修名	日程
倫理・法令遵守に関する研修	4月職員会議
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修①	5月職員会議
地域貢献についての研修	6月職員会議
事故防止の為の職員に対する研修	7月職員会議
認知症・精神疾患についての研修	8月職員会議
防災についての研修	9月職員会議
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修②	10月職員会議
基本的人権についての研修	11月職員会議
地域包括ケアについての研修	12月職員会議
プライバシー・個人情報についての研修	1月職員会議
身体拘束・虐待に関する研修	2月職員会議
苦情処理についての研修	3月職員会議

#### ④施設内研修(伝達研修も含む)

研修名	日程
認知症総合支援事業取組報告会について	4/27
認知症徘徊対応具説明会	2/7

#### ⑤地域貢献に関するもの

会議名	回数
気軽に元気アップ講座	12
かぎ預かり事業 21協力施設合同会議	2
第一中学校区圏域かぎ預かり事業連携会議	7
緊急時安否確認(かぎ預かり事業)合同模擬訓練	1
東校区サロン	5

#### ⑥職場体験等

研修名等	人数
中間的就労受入	2
家庭裁判所からの職場体験受入	3